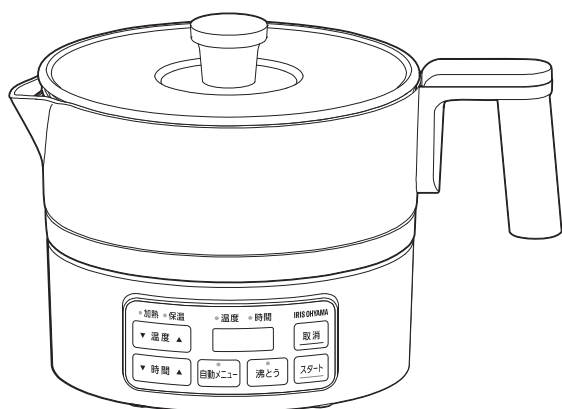


クッキングケトル ICK-M1200

取扱説明書



この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただきまことに
ありがとうございます。

- ご使用の前に「安全上の注意」を必ずお
読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつ
でも見ることができるよう、大切に保管
してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」
の記入を必ず確かめ、販売店からお受け
取りください。

もくじ

ご使用の前に

安全上の注意	2
使用上の注意	5
各部の名称	6

取り扱いかた

使いかた お湯を沸かす	8
使いかた 自動メニュー	10
レシピについて	12
お手入れ	12

こんなときには

故障かな?と思ったら	13
仕様	15
保証とアフターサービス	15
保証書	裏表紙

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号
です。



禁止を示す記号
です。



必ず行うことを示す記号
です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う
おそれがある内容を示しています。



プラグを抜く

- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。

〔異常の例〕

- 異常な音やにおいがする
 - 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
 - 使用中電源が切れる
 - 触れるとビリビリ電気を感じる
- 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。
修理については、お買い上げの販売店または修理専用コールへお問い合わせください。



- 子どもや操作に不慣れな方だけで使わせたり、幼児に触れさせたりしない

感電・けが・やけどの原因になります。必ず、本製品の安全な使いかたを理解している保護者・介助者の補助のもとで使用してください。



水ぬれ禁止

- 水のかかるおそれのある場所や湿気の多い場所では使用しない
- 本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない
漏電やショートを起こし、火災・感電の原因になります。



- 注ぎ口に手を触れたり、顔を近づけたりしない

やけどの原因になります。特に小さなお子様や乳幼児には触らせないように注意してください。

- 注ぎ口をふきなどでふさがらない
ふきこぼれて、感電・やけどの原因になります。



- 直火（ガス台など）や電磁調理器（IHクッキングヒーターなど）、電気ヒーターなどの上に載せない
火災の原因になります。また、電磁調理器の上で使用すると、誤動作や故障の原因になります。



- 穴・隙間・開口部に指を入れたり、ピンや針金などの金属物を入れたりしない

火災・感電・やけどの原因になります。



- 使用中は移動させない
- 無理にふたを開けない
- 湯沸かし中はお湯をつぎ足さない
蒸気がふきだし、やけど・けがの原因になります。



- 1.0Lの水位線以上に水や食材を入れない
ふきこぼれて、感電・やけど・けがの原因になります。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取り
ほこりがたまると、湿気などで絶
縁不良になり、火災・感電の原因
になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで
確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因
になります。



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動するときは、
必ず電源プラグをコンセントから
抜く
感電やけがの原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差し
をしない
感電・やけど・けがの原因になり
ます。



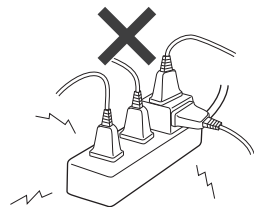
- 電源コードを束ねて通電しない
過熱してやけどや火災の原因にな
ります。電源コードは、必ずのば
して使用してください。
- 交流100V以外では使わない
火災・感電の原因になります。
- 定格15A以上のコンセントを単
独で使う



- 電源コードを傷付けない
- 持ち運び時や収納時に電源コード
を引っ張らない
傷付ける、加工する、無理に曲げ
る、引っ張る、ねじる、重いもの
を載せる、挟み込むなどしないで
ください。
電源コードが破損し、火災・感電
の原因になります。

- 電源コードや電源プラグが傷んだ
り、コンセントの差し込みがゆる
いときは使わない
ショートによる火災・感電の原因
になります。電源コードが破損し
たときは、修理専用コールへお問
い合わせください。

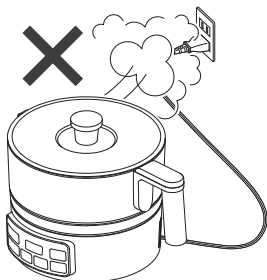
- コンセントや延長コードなどの定
格を超える使いかたをしない
火災の原因になります。



- 乳幼児に電源プラグをなめさせない
けがや感電の原因になります。



- 電源コード・電源プラグに蒸気を
当てない
火災・感電の原因になります。



- 取扱説明書に記載した以外の使い
かたをしない
火災・やけど・感電・けがの原因
になります。
- 業務など家庭用以外で使わない
本製品は家庭用として設計されて
います。業務など家庭用以外に使
用すると、火災などの原因になり
ます。
- 氷を入れて保冷用に使わない

安全上の注意 つづき

注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



接触禁止

- 使用中や使用後しばらくは高温部に触れない
やけどするおそれがあります。お手入れは十分に冷めてから行ってください。
- ふたを開けるときは、出る蒸気に触れない



- 壁や家具の近くで使わない
蒸気や熱で壁や家具を傷め、変形・変色の原因になります。
- 不安定な場所で使わない
火災・やけど・けがの原因になります。
- 熱に弱いテーブルクロスや敷物などの上で使わない
設置場所が焦げたり、火災の原因になります。
- 底面の吸気口・排気口をふさがない
じゅうたん・ビニールクロス・アルミホイル・布などの上で使用しないでください。
過熱して火災の原因になります。



- 鍋を移動させるときは、必ず持ち手を持つ
他の部分（ふたつまみなど）を持って運ぶと、落下して、やけど・けがの原因になります。



- 振り回したり、落としたり、強い衝撃を与えたりしない
破損して、故障の原因になります。



- 鍋をガスコンロなどの直火にかけない
- 電子レンジ・オーブン・オープンレンジなどで使用しない
破損・変形の原因になります。

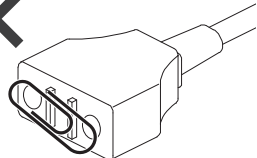


プラグを抜く

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 長期間使わないときは、必ず電源プラグを抜く
絶縁低下による漏電により、火災・感電の原因になります。



- マグネットプラグに金属をつけない
ショート・感電の原因になります。



- 付属の電源コードセット以外は使わない
- 付属の電源コードセットを他の機器に使用しない
火災の原因になります。



- ふきんなどをかぶせない
過熱・火災や事故の原因になります。



- 重曹などの熱に反応して発泡するものは使用しない
やけど・故障の原因になります。
- 揚げ物・焼き物・炒め物をしない
油を入れると高温になり、破損・故障の原因になります。
- 空だきをしない
変形・変色・故障の原因になります。
- 市販のタイマー機器を接続して使用しない
故障の原因になります。

低温調理について

低温調理では高温による殺菌ができないため、調理方法を誤ると食中毒を起こすおそれがあります。調理の際は以下の注意を守ってください。



- 調理時は、直接手で食材に触れない
- 常温で長時間放置しない
常温で長時間放置すると、食中毒のリスクが高まります。調理後、粗熱を取った後90分以内に食べない場合は、冷蔵保存をし、早めにお召し上がりください。



- 調理前に手や器具をよく洗い、衛生的に調理する
- 食材は新鮮なものを使用し、調理に使用するチャック付きの密封袋は毎回新しいものを使用する

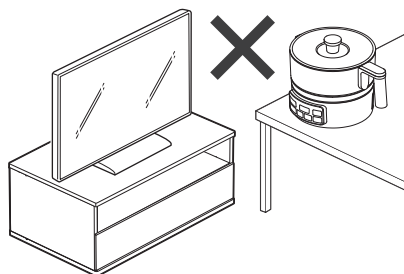


- 食肉を調理する場合は、必ずかたまり肉を使用する
- 妊婦・乳児・高齢者など免疫力の弱い方に食べさせるときは、十分に注意する
調理や食品の状態、健康の具合などに不安のあるときは食べさせないでください。
- 調理時・保温時は、菌が繁殖する5～55℃の温度帯を避ける

使用上の注意

設置について

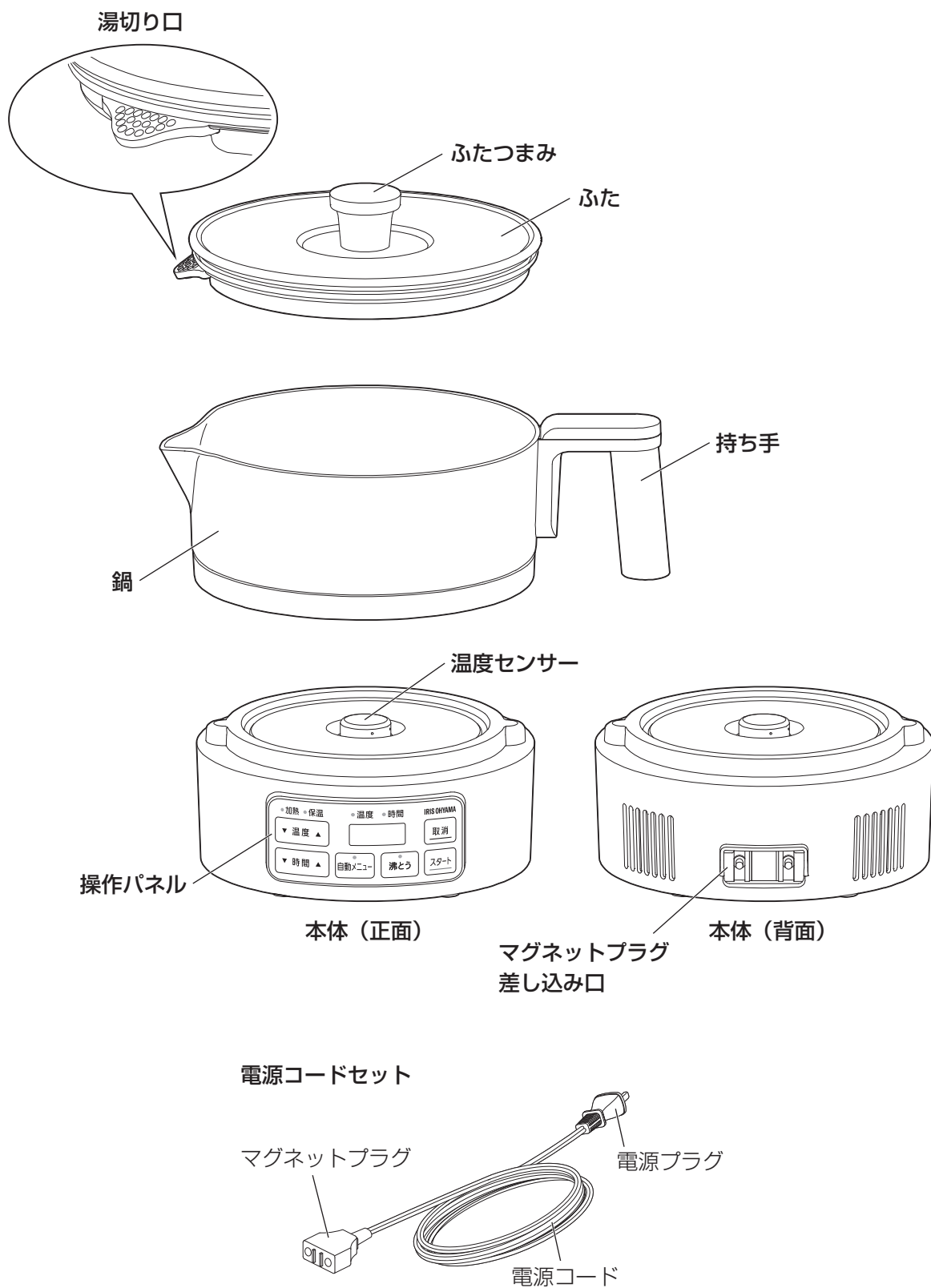
- 火気や可燃物の近く、水のかかる場所には設置しないでください。
- 棚などで使う場合は、蒸気がこもらないようにしてください。
- ラジオやテレビに近づけないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。



調理前・調理中のご注意

- 使用する際に、鍋が浮いていたり傾いていたりしていないか確認してください。
- 鍋や本体などの食品のこびりつきなどは取り除いてください。また、金属片が付着していないか確認し、必ず取り除いてください。
異常発熱し、故障する原因になります。
- 鍋の底面に水分が付いたまま、本体にセットしないでください。
故障の原因になります。必ず乾いたふきんなどで拭き取ってからセットしてください。
- 本体に鍋を載せたまま水や食材を入れるときは、本体を水でぬらさないように注意してください。
故障の原因になります。
- 調理中に食材を追加するときは、あふれさせないようにしてください。
けが・やけど・故障の原因になります。
- 鍋の破損・コーティングの傷付きを防ぐために、以下のことを守ってください。
 - ・ 鍋が熱いうちに水を入れたりして急冷しない
 - ・ 空だきしない
 - ・ 金属製のへらやスプーンなどを使用しない
 - ・ お手入れにスポンジ以外の硬いたわしなどを使用しない
 - ・ 食器など硬いものを入れない
 - ・ 食器洗浄機に入れない

各部の名称



■ 操作パネル

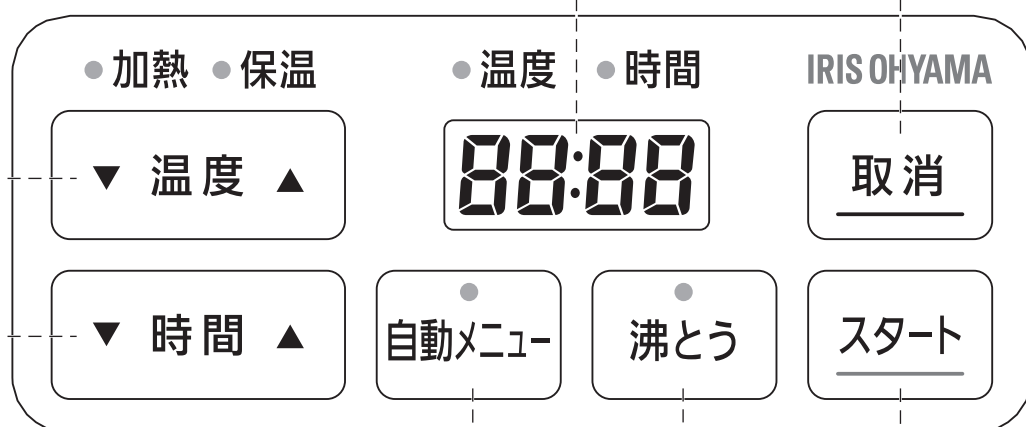
温度ボタン

温度を設定するときに
使います。

表示部

(全表示の状態)

取消ボタン



時間ボタン

時間を設定するときに
使います。

自動メニューボタン

自動メニューを選択
するときに使います。

スタートボタン

ボタンを押すと、
加熱を開始します。

沸とうボタン

ボタンを押すだけで、
簡単に沸とうさせる
ことができます。

■ 鍋無し検知機能について

本体に鍋が載っていない、または鍋が正しくセットされていないと、表示部に**OPEN**が表示されます。鍋を正しくセットしてください。(→P8)



■ 空だき防止機能について

鍋が空の状態では加熱を開始すると、過熱による事故や故障を防ぐために「空だき防止機能」がはたらき、**F5** (エラー表示) を表示して、加熱が停止します。



注意

● 空だきは危ないので
絶対にしないでください。

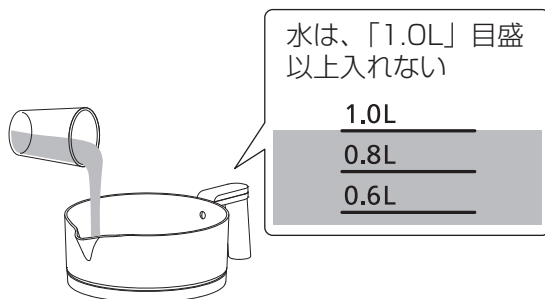
使いかた お湯を沸かす

■ お湯を沸かす

設定した温度に達するまで加熱します。

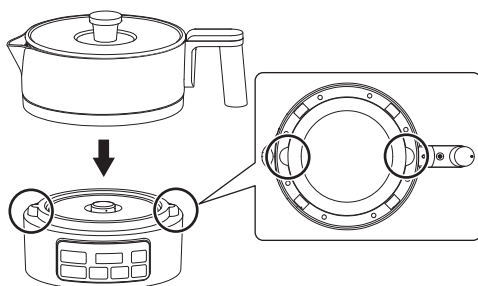
1 鍋に水を入れ、ふたをする

- 水は「1.0L」以上入れないでください。



2 鍋を本体に載せる

- 鍋の持ち手が操作部の左右にくるように載せてください。(鍋の底面と本体の形状を合わせてください。)



持ち手

本体(正面)

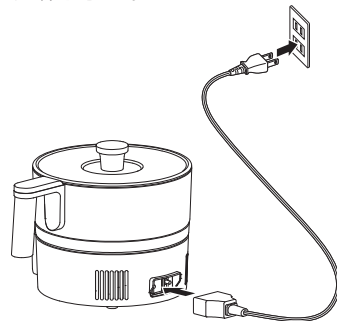


正面

正面

3 電源コードセットを接続する

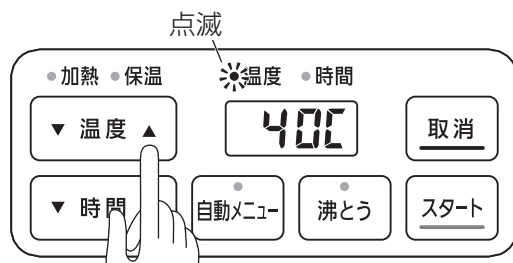
マグネットプラグを本体の差し込み口に接続し、電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。



※何も操作せずに5分経過するとブザーが鳴り、自動的に電源が落ちます。

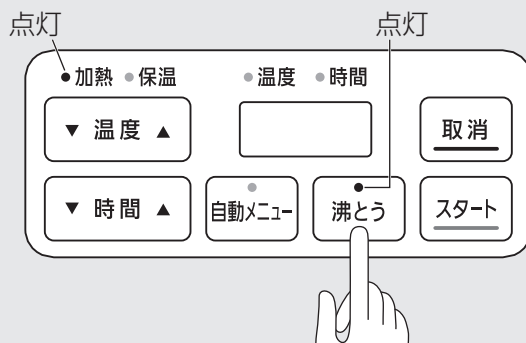
4 温度ボタンを押して、温度を設定する

- 温度ランプが点滅します。
- 温度は40～100℃の範囲で、10℃単位で設定ができます。



■ 湯沸かし(100℃)を簡単に

- 沸とうボタンを押すだけで、設定せずに湯沸かしができます。



※ 温度が100℃に達したら、ブザーが鳴り、加熱を停止します。

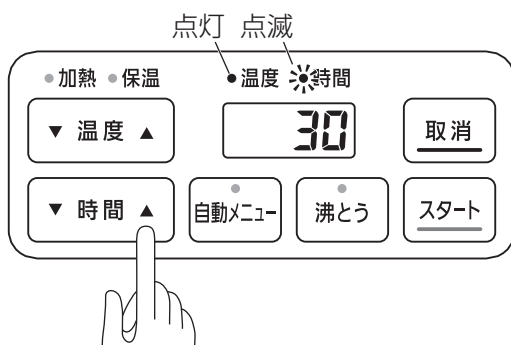
必要に応じて、時間ボタンを押して、時間を設定する

- ・時間ランプが点滅します。
- ・時間は設定温度が40～70℃のときは4時間まで、設定温度が80～100℃のときは30分まで設定できます。

1～10分：1分単位

10分～1時間：10分単位

1～4時間：1時間単位



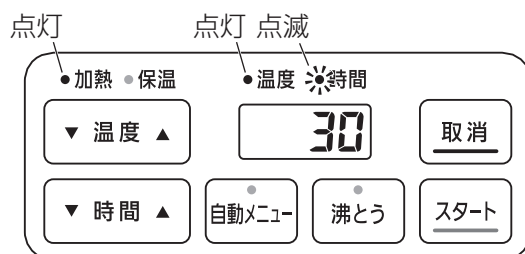
■ 時刻表示のしかた

1分：

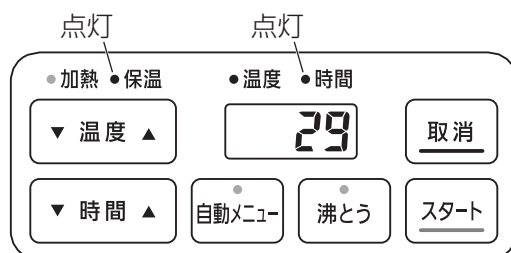
10分：

1時間： 点滅

- ・時間を設定した場合は、加熱・温度ランプが点灯し、時間ランプが点滅します。



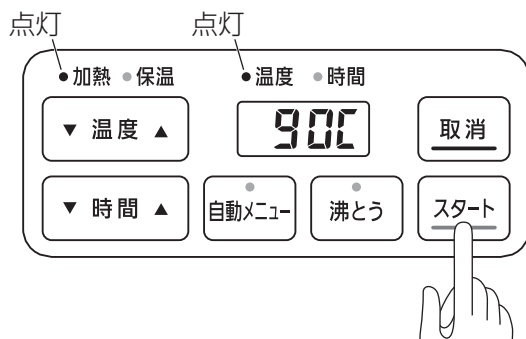
- ・設定温度に達すると、保温ランプが点灯し、時間ランプが点灯に変わり、設定時間保温になります。（経過時間に合わせて表示がカウントダウンします。）



設定時間が経過すると、ブザーが鳴り、加熱を停止します。

5 スタートボタンを押して、加熱開始

- ・加熱・温度ランプが点灯します。



※ 設定温度に達したら、ブザーが鳴り、加熱を停止します。



注意

- ・ふたを開けて中を確認するときは、蒸気に気をつけて行ってください。

■ 途中で取消ボタンを押すと

設定を解除して初期状態(40℃)に戻ります。

■ 使用後は

電源プラグを抜き、本体が冷めてからお手入れをしてください。

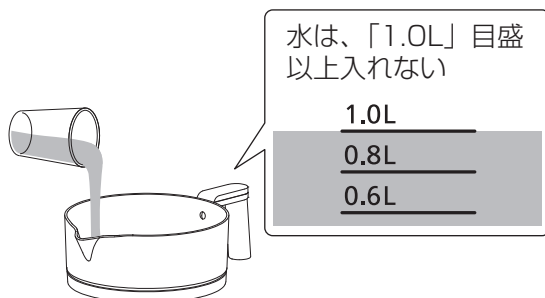
使いかた 自動メニュー

■ 自動メニューで調理する

レシピの詳細は、P12に記載のレシピサイトを参照してください。

1 鍋に食材などを入れて準備する

- ・ 水は「1.0L」以上入れないでください。



注意

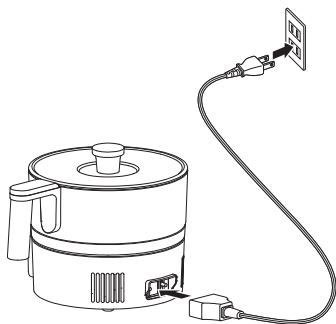
- 揚げ物・焼き物・炒め物をしないでください。
油を入れると高温になり、破損・故障の原因になります。

2 鍋を本体に載せる

- ・ 鍋の持ち手が操作部の左右にくるように載せてください。(鍋の底面と本体の形状を合わせてください。)
(→P8参照)

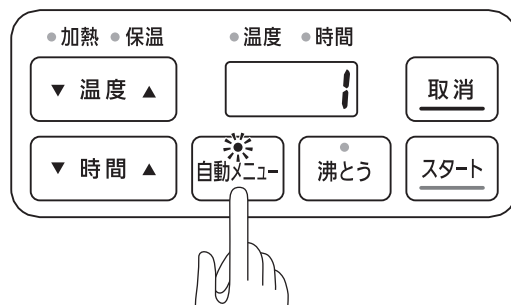
3 電源コードセットを接続する

マグネットプラグを本体の差し込み口に接続し、電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。



4 自動メニューボタンを押して、メニューを選択する

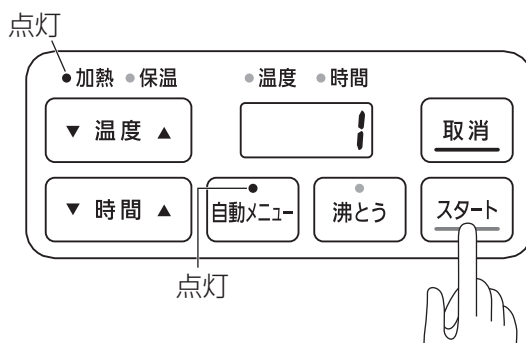
- ・ 自動メニューランプが点滅します。



番号	メニュー
1	鍋
2	インスタント麺
3	煮込み
4	サラダチキン
5	炊飯

5 スタートボタンを押して、加熱開始

- ・ 加熱・自動メニューランプが点灯します。



調理が終了すると、ブザーが鳴り、加熱を停止します。

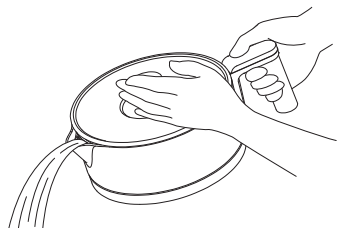
※ 鍋・煮込み・炊飯は保温になります。

保温時は保温ランプが点灯します。

鍋・煮込み：30分、炊飯：1時間

■ 湯切りをするときは

ふたの注ぎ口が網状になっているので、ふたをすることで湯切りができます。(湯切り口) ふたがきちんとはまっているのを確かめて、必ずふたつまみを手で押さえながら、湯切りをしてください。



■ 使用後は

電源コードセットを抜き、本体が冷めてからお手入れをしてください。

■ 低温調理について



注意

低温調理では高温による殺菌ができないため、調理方法を誤ると食中毒を起こすおそれがあります。調理の際は、以下の注意を守ってください。

- 調理前に手や器具をよく洗い、衛生的に調理してください。
- 食材は新鮮なものを使用し、調理に使用するチャック付きの密封袋は毎回新しいものを使用してください。
- 調理時は、直接手で食材に触れないでください。
- 食肉を調理する場合は、必ずかたまり肉を使用してください。
- 使用する水・食材・環境の温度が低いと、加熱温度が十分に上がらない場合があります。加熱温度に不安があるときは、仕上がりを見て追加加熱をしてください。
- 調理後は粗熱を取った後90分以内にお召し上がりいただくか、冷蔵保存をしてお早めにお召し上がりください。常温で長時間放置すると、食中毒のリスクが高まります。
- 妊婦・乳児・高齢者など免疫力の弱い方に食べさせるときは、十分に注意してください。調理や食品の状態、健康の具合などに不安のあるときは食べさせないでください。
- 調理時・保存時は、菌が繁殖する5～55℃の温度帯は避けてください。

食中毒菌等の死滅条件

細菌等	温度と加熱時間
腸管出血性大腸菌	75℃ 1分
カンピロバクター	75℃ 1分
サルモネラ属菌	75℃ 1分
リステリア	65℃ 数分
ノロウイルス	85～90℃ 90秒間以上

内閣府 食品安全委員会 広報誌「食品安全」第50号より引用
http://www.fsc.go.jp/visual/kikanshi/k_index_back_number_50.html

レシピについて

レシピの詳細は、アイリスオーヤマ クッキング
ケトル レシピサイトを参照してください。
[https://www.irisohyama.co.jp/cooking-kettle/
recipe/](https://www.irisohyama.co.jp/cooking-kettle/recipe/)



お手入れ



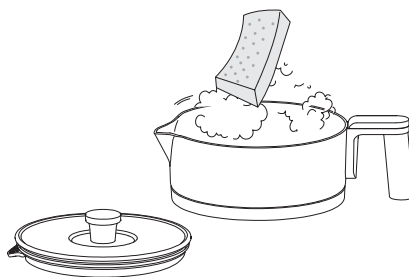
注意

- お手入れは、必ず調理や保温を終
了し電源プラグを抜いて、鍋・本体
が十分冷えてから行ってください。
- 本体は水洗いしないでください。

- 使用後は毎回お手入れをしてください。
- 酸性・アルカリ性の強い洗剤・薬品、漂白剤、
金属たわし、ナイロンたわし、研磨材入りの
スポンジなどは使用しないでください。
- 汚れがこびりついた場合、ぬるま湯にしばらく
つけてから洗ってください。
- こびりついた汚れなどを落とすときに、刃物
や硬いものなどを使用しないでください。

鍋・ふた

台所用中性洗剤で洗い、水で流す



- ※柔らかいスポンジなどを使用してくださ
い。金属へら、金属たわし、ナイロンたわし、
スポンジのナイロン面、クレンザーなどは
使用しないでください。
- ※洗った後はよく乾かしてください。
- ※湿気の多いところに放置したり、汚れが
残ったまま放置したりすると、腐食の原因
になります。

本体・温度センサー

よく絞ったふきんで拭く

- ※温度センサーに汚れが付いていると、誤動
作の原因になります。必ずきれいに使用
してください。



故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みの上、以下の点を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置
ボタンを押しても動作しない	●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない	●電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	●マグネットプラグが外れている	●本体のマグネットプラグ差し込み口にマグネットプラグを接続してください。
	●鍋がずれている	●鍋を本体の上に正しくセットしてください。
	●鍋が変形している	●鍋が変形した場合は、使用を中止して、お買い上げの販売店またはアイリスコールまでご相談ください。
加熱が途中で停止する	●鍋の底面や本体に、金属片やごみが付いている	●取消ボタンを押してから電源プラグを抜き、鍋やヒーターが冷えてから金属片やごみなどを取り除いてください。
	●鍋に水が入っていない	●鍋に水が入っていない状態で加熱すると空だき防止機能がはたらき、加熱を停止します。 ●取消ボタンを押してから電源プラグを抜き、鍋と本体を冷ましてから使用してください。
お湯がふき出る	●1.0L以上の水を入れている	●水は1.0L以下にしてください。
湯沸かし中の音が、いつもより大きい	●鍋の内部が汚れている	●水あかなどが鍋に付着すると、湯沸かし中の音が大きくなることがあります。鍋は使用のたびに、必ず台所用中性洗剤で洗ってください。
お湯を沸かすとプラスチック臭がする	●使い始めのうちはプラスチックやゴムのにおいを感じることもある	●使用にともなって、少なくなります。気になる場合は、1～2回湯沸かしをしてから使用してください。
煙が出る においが出る	●初めて使用するときは、煙やにおいが出ることもある	●使用にともない、出なくなります。

故障かな？と思ったら つづき

状 態	考えられる理由	処 置
ふたが 閉まらない	●ふたのパッキンや鍋のふちに、食品かすや異物が付いている	●食品かすや異物を取り除いてください。
	●鍋が変形している	●鍋が変形した場合は、使用を中止して、お買い上げの販売店またはアイリスコールまでご相談ください。
ヒーターや 鍋の底の 色が変わった	●熱が加わったことで色が変わった	●熱が加わることで色が変わることがありますが、製品の異常ではありません。
加熱中に 「カチッ」と 音がする	●ヒーターの熱によって、金属部が膨張している	●故障ではありません。
動作しない 加熱が停止する エラー表示 F5	●空だきをしている ●鍋が浮いている	●空の状態での加熱をしないでください。 ●鍋と本体の間に異物がないか確認して、鍋を本体の上に正しくセットしてください。
動作しない 加熱が停止する エラー表示 F6 F8 F9	●温度センサーが高温になり、異常を検知した	●電源プラグを抜いて鍋を外し、本体を冷ましてください。それでも直らない場合は、修理専用コールへご相談ください。
動作しない 加熱が停止する エラー表示 F7	●定格時間を超えても目標温度に達しない	●水が多すぎたり、環境温度が低すぎたりすると時間内に目標温度に達しないことがあります。適切な量・環境で使用してください。それでも直らない場合は、修理専用コールへご相談ください。
動作しない 加熱が停止する エラー表示 上記以外の F○	●異常を検知した	●電源プラグを抜き、しばらく待って再度電源プラグを差し込み直してください。それでも直らない場合は、修理専用コールへご相談ください。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

● ご自分で分解・修理・改造をしないでください。

仕様

電源	AC100V、50/60Hz
定格消費電力	1200W
最大容量	1.0L
寸法	幅280×奥行200×高さ187mm
質量	約1.8kg
電源コード	長さ約2.0m（マグネットプラグ）

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書（裏表紙）に記載されています。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、5年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

廃棄について

- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

長年ご使用のクッキングケトルの点検を！

愛情点検



こんな症状はありませんか

- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる
- 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 本体が変形・破損していたり、焦げくさいにおいがする
- その他異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店またはアイリスコールに点検を依頼してください。

クッキングケトル ICK-M1200

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※ 年 月 日		保証期間 お買い上げ日より：1年間 ただし、消耗品（付属品・鍋のコーティングなど）を除く	
お客様	お名前		※販売店 住所・店名 電話（ ） -
	ご住所 〒 電話（ ） -		

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 1 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料で修理または交換いたします。
- 2 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 3 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- 4 ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 5 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 本書の提示がない場合
 - ⑦ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 6 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 7 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <https://www.irisohtyama.co.jp/>

お客様サポート

24時間365日
Web即時回答サービス



専用パーツのご購入

アイリスオーヤマ
公認通販サイト



製品に関するお問い合わせ **アイリスコール 0120-311-564**（通話料無料）／修理に関するお問い合わせ **修理専用コール 0800-170-7070**（通話料無料）
【お電話での受付時間】 平日・土・日・祝日 9:00～17:00（年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く）